



## 安全性データシート

改定日: 2016年1月5日

発行日: 2009年12月9日

SDS番号: 177-18

### セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

#### 1.1. 製品識別

338 スーパー・ラスト・リムーバー

#### 1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途

酸ベース洗浄剤 - 不燃性。錆と腐食をあらゆる金属から除去、塗装可能な保護された表面を提供します。

#### 1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

##### 会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY  
860 Salem Street  
Groveland, MA 01834-1507, USA  
Tel.: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785  
(Mon. - Fri. 8:30 - 5:00 PM EST)  
SDSの要求: [www.chesterton.com](http://www.chesterton.com)  
Eメール (SDSに関する質問): [ProductMSDSs@chesterton.com](mailto:ProductMSDSs@chesterton.com)  
Eメール: [customer.service@chesterton.com](mailto:customer.service@chesterton.com)

##### 供給元:

株式会社 明治屋  
神奈川県横浜市中区尾上町  
5丁目7番地  
TEL 045-681-2741 FAX 045-681-2731  
Eメール: [contact-ches@meidi-ya.com](mailto:contact-ches@meidi-ya.com)

#### 1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

### セクション 2: 危険有害性の要約

#### 2.1. 物質または混合物の分類

##### 2.1.1. 欧州規制1272/2008 [CLP] / GHSによる分類

皮膚腐食性 1B, H314

金属腐食 1, H290

##### 2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

#### 2.2. ラベル項目

欧州規制1272/2008 [CLP] / GHSによるラベル付け

危険の絵表示:



信号語:

危険

危険有害性情報:

H314

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。

H290

金属腐食のおそれ。

<b>使用上の注意:</b>	P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
	P303/361/353	皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
	P363	汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
	P305/351/338	眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P301/330/331	飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
	P310	ただちに医師に連絡すること。
	P390	物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

**補足情報:** なし

### 2.3. その他の危険性

既知の影響なし

## セクション 3: 組成、成分情報

### 3.2. 混合物

危険成分 <sup>1</sup>	重量%	CAS番号 / EC番号	CLP/GHS分類
リン酸	50-55	7664-38-2 231-633-2	皮膚腐食性 1B, H314 金属腐食 1, H290
ジブropilengリコールモノメチルエーテル	10-15	34590-94-8 252-104-2	引火性液体 4, H227* STOT 単回暴露 3, H335
エトキシ化アルコール	1 - < 3	34398-01-1 500-084-3	眼損傷 1, H318 激しい毒性 4, H302

\*欧州CLPによらない分類

H(危険)ステートメントの全文:セクション16を参照。

<sup>1</sup>分類基準: \* 労働安全衛生法

\* 毒物および劇物取締法

\* GHS, 1272/2008/EC, REACH

## セクション 4: 応急処置

### 4.1. 応急処置情報

<b>吸引:</b>	新鮮な空気のある場所へ移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。直ちに医師の診断を受けてください。
<b>皮膚への付着:</b>	汚れた衣服を脱ぐ間に、作業場所に水を大量に流してください。衣服は再使用する前に洗ってください。石鹼水で皮膚を洗浄してください。医師の診断を受けてください。
<b>目に入った場合:</b>	大量の水で目を最低30分間洗い流してください。医師の診断を受けてください。
<b>飲み込んだ場合:</b>	水で口をゆすいでください。意識がある場合は、大量の水で胃の内容物を希釈してください。無理に吐かせないでください。直ちに医師の診断を受けてください。

### 4.2. 最も重要な徴候と影響(急性および遅延)

接触すると目、皮膚、粘膜に火傷を起こします。繰り返し吸引、摂取された場合やや有毒。

ジブropilengリコールモノメチルエーテルは、長時間大量に皮膚に付着すると眠気を生じ、繰り返し大量に晒されると肝臓、時には腎臓の障害を起こすことがあります。

**4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候**

症状の手当てをしてください。

**セクション 5: 火災時の処置****5.1. 消火剤**

**適切な消火剤:** 非引火性。周辺火事用の消火媒体を使用してください。

**不適切消火剤:** 既知の影響なし

**5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性**

異常な高熱に晒されると容器が破裂することがあります。

**5.3. 消防の際のアドバイス**

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

**セクション 6: 漏出時の処置****6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

その場を退去してください。充分換気してください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

**6.2. 環境に対する注意**

下水、河川、水路に流さないでください。

**6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料**

流出分は小さな場所に回収してください。吸収性の材料(砂、おがくず、クレー等)で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。作業区域を水で十分に洗い流してください。洗い流した後、石灰やソーダ灰で微量残留物を中和することができます。

**6.4. 他のセクションの参照**

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

**セクション 7: 取扱い及び保管上の注意****7.1. 安全な取扱いのための注意**

直接接触を全て避けてください。非金属製の容器で保管、混合してください。酸が金属を侵し水素ガスを発生します。

**7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)**

非金属製容器に入れ、熱や湿気のない所に保管してください。

**7.3. 具体的な最終用途**

予防策は特になし。

## セクション 8: 暴露防止及び保護措置

## 8.1. 管理パラメーター

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m <sup>3</sup>	ppm	mg/m <sup>3</sup>
リン酸	-	1	-	1 STEL: 3
ジブロピレングリコールモノメチルエーテル	-	-	100 (皮膚) STEL: 150	606 909
エトキシ化アルコール	-	-	-	-

## 8.2. 曝露制限

## 8.2.1. 設備対策

条件は特になし。許容限界を超える場合は、充分換気してください(効率のよい一般機械換気装置や局所排気装置)。

## 8.2.2. 作業員の保護対策

**呼吸器系の保護:** 通常不必要。許容限界を超える場合は、認可された有機、酸性ガス呼吸マスクを使用してください。

**手袋:** 耐薬品性手袋(例:天然ゴムあるいはネオプレン)

**目/顔の保護:** 安全ゴーグル。

**その他:** ゴムエプロン、ゴム長靴、その他不浸透性の衣服を必要に応じて着用し皮膚を保護してください。

## 8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

## セクション 9: 物理的及び化学的性質

## 9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	低粘性の液体	臭気	かすかな臭気
色	透明	においの閾値	未定
初留点	未定	20°Cでの蒸気圧	未定
融点	未定	重量比芳香物含有率 (%)	0%
揮発率%(容量比)	46%	pH	< 1
引火点	なし	相対密度	1.3 kg/l
方法	PM閉カップ	係数(水/油)	> 1
粘度	< 50 cps @ 25° C	蒸気密度(空気=1)	> 1
自己発火温度	未定	蒸発率(エーテル=1)	< 1
分解温度	データなし	水溶性	完全水溶性
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	未定	酸化性	未定
引火性(固体、ガス)	適応せず	爆発性	未定

## 9.2. その他の情報

なし

**セクション 10: 安定性及び反応性****10.1. 反応性**

強アルカリに反応します。反応性金属に接触すると水素を発生することがあります。

**10.2. 化学的安定性**

安定

**10.3. 危険な反応の可能性**

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

**10.4. 避けるべき条件**

なし

**10.5. 配合禁忌薬品**

アルカリ金属、反応金属、および液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

**10.6. 危険な分解物**

一酸化炭素, 二酸化炭素, リン酸化物その他の有毒煙。

**セクション 11: 有害性情報****11.1. 毒性影響に関する情報**

通常使用時の主な接触経路: 吸引、皮膚や目への付着。

**急性毒性 -**

**経口:** 接触すると目、皮膚、粘膜に火傷を起こします。

物質	テスト	結果
リン酸	致死量50(LD50), ラット	3500 mg/kg
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル	致死量50(LD50), ラット	> 5000 mg/kg
エトキシ化アルコール	致死量50(LD50), ラット	1620 mg/kg

**経皮:**

物質	テスト	結果
リン酸	致死量50(LD50), うさぎ	2740 mg/kg
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル	致死量50(LD50), ラット	9510 mg/kg

**吸引:**

物質	テスト	結果
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル	致死濃度50(LC50) 吸引, ラット	> 500 ppm, 7 時間

**皮膚腐食 / 刺激:** 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。

物質	テスト	結果
リン酸	うさぎ	腐食性

**重篤な目の損傷 / 刺激:**

物質	テスト	結果
リン酸	うさぎ	腐食性

**呼吸器または皮膚の感作:** 情報なし

**胚細胞突然変異原性:** リン酸, ジプロピレングリコールモノメチルエーテル:  
入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

<b>がん原性:</b>	本製品は、国際ガン研究機関(IARC)あるいは法規(欧州共同体)1272/2008の規定する発がん性物質を含有していません。
<b>生殖毒性:</b>	リン酸、ジブロピレングリコールモノメチルエーテル: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
<b>STOT - 単回暴露:</b>	リン酸: データなし。ジブロピレングリコールモノメチルエーテル: 呼吸器への刺激のおそれ。
<b>STOT - 反復暴露:</b>	繰り返し吸引、摂取された場合や有毒。リン酸: データなし。ジブロピレングリコールモノメチルエーテル: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
<b>吸引性呼吸器有害性:</b>	入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
<b>その他の情報:</b>	既知の影響なし

**セクション 12: 環境影響情報**

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

**12.1. 毒性**

水生生物の多くはpH4以下の環境では生存できません。リン酸: 96時間LC50 (対魚), 138 mg/l。  
ジブロピレングリコールモノメチルエーテル: 魚に対して低毒性。

**12.2. 持続性・分解性**

DPGME: 直ちに生分解可能。

本準備段階に含まれている界面活性剤は、洗浄剤に関する条例(EC)648/2004で規定された生分解性基準に適合しています。同主張を立証するデータは加盟国の担当機関が自由に使用することができ、同機関の直接の要請あるいは洗浄剤製造メーカーの要請に応じて入手可能になります。

**12.3. 生物蓄積の可能性**

DPGME: 生体内蓄積の可能性低(BCF < 100)。

**12.4. 土壌中の移動性**

液体。非水溶性。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。DPGME: 土壌内の移動性が極めて高いとされています。

**12.5. PBT・vPvB評価の結果**

本混合物はPBTやvPvBと評価される物質を含んでいません。

**12.6. その他の悪影響**

既知の影響なし

**セクション 13: 廃棄上の注意****13.1. 廃棄処理方法**

汚れたものや余分な液体は焼却あるいは中和してください。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。本製品はEC理事会指令2008/98/ECで危険廃棄物に指定されています。

**セクション 14: 輸送上の注意****14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO:	UN1805
TDG:	UN1805
US DOT:	UN1805

**14.2. UN固有輸送名**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO:	PHOSPHORIC ACID SOLUTION
TDG:	PHOSPHORIC ACID SOLUTION
US DOT:	PHOSPHORIC ACID SOLUTION

**14.3. 輸送危険性分類**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 8  
 TDG: 8  
 US DOT: 8

**14.4. 梱包グループ**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: III  
 TDG: III  
 US DOT: III

**14.5. 環境への危険性**

環境危険性なし

**14.6. ユーザーへの特別な注意**

使用に関する特別な注意はなし

**14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード**

適応せず

**14.8. その他の情報**

US DOT: ERG NO. 154

IMDG: EmS F-A, S-B

ADR: Classification code C1, Tunnel restriction code (E)

**セクション 15: 適用法令****15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

日本PRTR	クラスI薬品: なし	クラスII薬品: なし
その他の国内規制: なし		

**セクション 16: その他の情報**

**略語一覧:** ACGIH:米国産業衛生専門家会議  
 ADN:内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ADR:道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ATE:急性毒性推定値  
 BCF: 生物濃縮係数  
 CLP:分類、ラベル、包装に関する法規(1272/2008/EC)  
 GHS:世界調和システム  
 ICAO:国際民間航空機関  
 IMDG:国際海上危険物規定  
 LC50:試験動物の50%を死亡させる致死濃度  
 LD50:試験動物の50%を死亡させる投与量  
 LOEL:最小作用量  
 NOEC:最大無作用濃度  
 NOEL:最大無作用量  
 N/A:該当せず  
 PBT:難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質  
 PEL:許容暴露限度  
 REACH:化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制(1907/2006/EC)  
 RID:鉄道による危険物の国際輸送に関する規定  
 SDS:安全性データシート  
 STEL:短時間暴露許容濃度  
 STOT: 特定標的臓器毒性  
 TDG:危険物輸送に関する勧告(カナダ)  
 TLV:暴露限界  
 US DOT:米国運輸省  
 vPvB:極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質  
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

**主な参考文献およびデータ出典:** 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(通称 ナイト、NITE)  
 欧州化学物質庁(ECHA) - 化学物質に関する情報  
 スウェーデン化学物質庁(KEMI)  
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク(TOXNET)

**GHSによる混合物の分類方法:**

分類	分類手順
皮膚腐食性 1B, H314	架橋原理「希釈」
金属腐食 1, H290	架橋原理「希釈」

**関連するH(危険)-ステートメント:** H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。  
 H227: 引火性液体。  
 H290: 金属腐食のおそれ。  
 H302: 飲み込むと有害。  
 H318: 重篤な眼の損傷。  
 H335: 呼吸器への刺激のおそれ。

**危険の絵表示名:** 腐食

**本改訂によるSDSの変更:** セクション 2.1, 2.2, 3, 5.1, 8.1, 11, 12.1, 16.

**その他の情報:** なし

製品: 338 スーパー・ラスト・リムーバー

日付: 2016年1月5日

SDS番号: 177-18

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。  
使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。  
適合性は使用者自身が決定しなければなりません。